

本コースは入学後に希望して自専修にプラスして学ぶ特別プログラムです。

教科横断探究コース

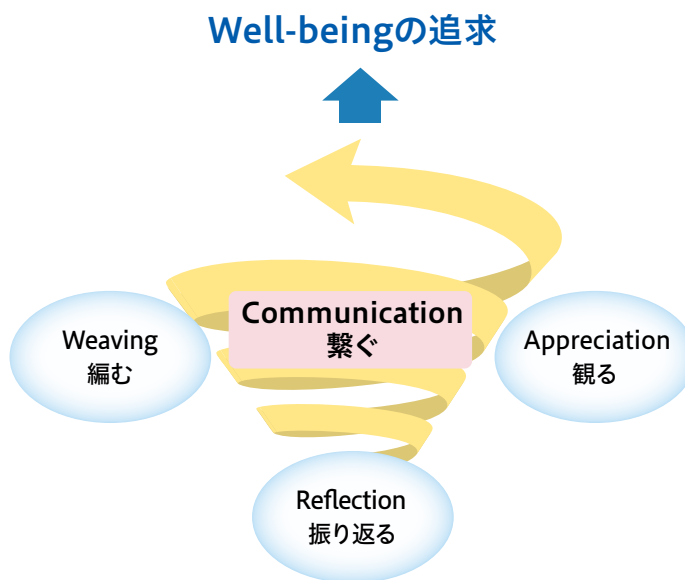
サイトは
こちら！



2006年から設置されている「6年一貫教員養成コース」を
「教科横断+探究学習」に重点化し、2021年度から新たにスタート

世界中の一人ひとりの幸せ (Well-being) を実現するためには、これまでの知識体系や人とのつながりを超えた発想で、協働して挑戦することが強く求められています。教科横断探究コースでは、このような課題に取り組むため、人やモノ、ディシプリン間のコミュニケーションを通して次のような資質・能力を発揮できる教師の育成を目指します。

- 「観る」: 他者や世界に共感して思いや感じ方を理解すること、自らの行動や実践を観ること。
- 「編む」: 課題に対する探究活動のなかで、教科の学びを編み直し、新たな知識、見方・考え方、スキルを創り上げていくこと。
- 「振り返る」: 自己と他者、自己と社会のつながり、自らの実践を、省察すること。



活動内容

教科横断探究コースでは、さまざまな活動を通して、学校や教育について多様な視点から考えます。例えば、21期生は「理想の学校空間とは何か」についてビジョンラージュ（自分の理想や思いを写真や言葉で表現するワーク）を用いて考えたり、小学校・中学校の研究授業や学校訪問を通して、よりよい学校のあり方について学びを深めています。



また、合同授業では他学年のコース生と意見を交わし、教育について多様な視点から考えを深めました。このような学びを踏まえ、西尾市の佐久島しおさい学校にて授業づくりに挑戦しました。初めての授業実践に向けて何度も模擬授業や検討会を重ね、先生方や先輩方から助言をいただきながら、より良い授業を追究しました。この経験は、私たちにとって大変貴重な機会となりました。

コース生の声



教科横断探究コース19期生 大学院1年

少人数で自分たちの興味を共有しながら学びを進められることが魅力です。異なる専攻や学年の違う学生、先生方とともに学ぶことで、多様な視点から物事を考えられるのも楽しいです。理想の学校や学習環境について、子ども・保護者・教師など複数の立場から考え、特に「居心地のよさ」を子どもの視点で探究しています。佐久島しおさい学校での授業実践では、専攻外の教科の授業を構想・実践し、協働して授業づくりを行う貴重な経験を得ました。先生方は学生の主体性を尊重し、専門的なアドバイスをしながらやさしく見守ってください。将来は、居心地の良い教室づくりや多様な教科の視点を活かした授業を通して、子どもたちとともに学び続ける教師を目指したいです。